日本検査血液学会雑誌
論文投稿規定

本投稿規定は，出版倫理委員会（Committee on Publication Ethics）の見解表明，世界医学雑誌編集者協会（World Association of Medical Editors），国際医学雑誌編集者委員会（International Committee of Medical Journal Editors）の勧告を尊重し，原則として採用しています．

1. **資格**　筆頭著者および責任著者（Corresponding Author）は日本検査血液学会の会員に限る．共著者も会員であることが望ましい．責任著者は投稿論文について全責任を負い，共著者のうち指導的な立場の者とする．

2. **論文内容**　検査血液学の進歩に寄与するものとする．

2-1. **論文区分**　論文の区分は，総説，委員会報告，原著，技術論文，資料，症例報告，及び編集者への手紙とする．「原著」は検査血液学についての独創的な研究，新規知見を報告する論文とする．「技術論文」は機器や試薬の検討など，「資料」は実験，試験，調査によって得られた各種データなど検査血液学に資する資料として有用なものとする．「症例報告」は，特異な問題がある症例の臨床経験や日常臨床に有用な問題について明記して，症例の経過，結果および考察を中心にまとめる．「編集者への手紙」は，本誌に掲載された論文への意見・質問とし，著者からの返答などを掲載する．

2-2. **二重投稿について**　他誌に未発表のものとする．以下のものは二重投稿とみなされる．
- 著書，研究会の proceedings，商業誌などの如何を問わず，すでに原著形式で発表されていて，対象が基本的に同じであり，方法が同じで結果，考察に新しいものがない場合．図表なしの学会抄録は除く．
- 総説であっても，対象が基本的に同じであり，方法が同じで結果，考察に新しいものがなく，同一内容の図表を用いた場合．

2-3. **研究倫理に関して**

1）ヘルシンキ宣言，「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省・経済産業省），「動物実験の適正な実施に向けたガイドライン」（日本学術会議），「臨床検査を終了した検体の業務，教育，研究のための使用について」（日本臨床検査医学会），症例報告を含む医学論文・学会研究会における学術発表においての患者プライバシー保護に関する指針（外科関連学会協議会）など，各研究に対応する臨床指針の最新改訂版に従うこと．

2）症例報告においては，患者が特定されないようプライバシーの保護に配慮する．患者個人を特定可能な氏名，入院番号，イニシャル，ID，住所（都道府県までは可）は記載しない．顔写真は目を隠し，症例を特定できる生検，剖検，画像情報に含まれる番号を削除する．

3）日付は，臨床経過を知る上で必要となるために年月まで記載することを推奨する．「2024年1月に発症」，「発症から2年後に入院」，「入院第5病日」など，経過が把握しやすい表現とする一方で，個人が特定されないように工夫する．

4）配慮しても個人が特定される可能性がある場合（報道などにより施設名や診療日時などから個人が特定可能な場合）には，論文発表に関する同意を患者自身（または家族か代理人，小児では保護者）から得るか，所属施設の倫理委員会の承認を得る必要がある．また，診療行為としてやむを得ず実施される「通常の診療を超える医療行為（未承認の医薬品/医療機器・過量投与/適用外使用）」は研究目的で行われるわけではないので，研究とはみなされず症例報告とするが，原則として倫理審査と機関の長の許可を得ておくことが望ましい．なお，研究目的で遺伝子解析などの検査や未承認のものを使用しての診療行為においては，倫理審査が必須である．

2-4. **投稿承諾書と著者役割（分担）について**　筆頭著者または責任著者は投稿承諾書に記載し署名捺印のうえ，提出すること．共著者がある場合，全員が本論文の投稿を承諾したことの確認として共著者全員の署名を得ること．また，全著者の役割（分担）について各署名の横に記載すること．共著者を筆頭著者と同等に扱う Equally contributing authors は原則認めない．ChatGPT などの人工知能（AI）ツールは著者資格を満たさない．

2-5. **「利益相反に関する自己申告書」について**　論文内容に関する全著者の利益相反に関する自己申告書を提出し，論文原稿の本文の末尾（文献の前）に記載すること．

記載例：本論文内容に関連する著者の利益相反開示：無し

記載例：本論文内容に関連する著者の利益相反開示：
著者A：社員，役員，顧問職への就任（X株式会社）
著者B：試薬・機器提供，役務提供（Y株式会社）

2-6. **論文分野**　投稿時に論文の分野を投稿 WEB サイト上で申告する．論文分野は下記の通りとなる．

1. 赤血球　2. 白血球　3. 血小板
4. 凝固・線溶　5. 白血病　6. リンパ腫
7. 骨髄腫　8. 検査技術　9. 遺伝子・染色体

3. **執筆要項**

3-1. **執筆概要**　和文または英文とし，希望の論文の区分を必ず明記する（論文の区分は編集委員会の意向によって変更を指示する場合もある）．
論文は文章作成ソフト（PDF は不可，Microsoft 社の MS-Word での作成を推奨する）を使用し，A4の1頁40字×20行にて作成する．文字は12ポイントにて，標準的なフォント（MS 明朝，MS ゴシックなど）の使用を推奨する．英文（文献を含む）の場合も同様の書式にて作成する．

3-2. **論文の構成**　表紙頁（表題，著者名，所属，和文要旨，キーワード，ランニングタイトル，利益相反の有無），本文（文献含む）および図説とし，図表をつける．本文には頁番号を必ず入れる．著者全員の氏名およびそれぞれの所属を記す．さらに責任著者の氏名と連絡先住所，電話番号，FAX 番号，電子メールアドレスを明記する．また，原稿の最後に英文で，表題，著者名，所属，英文要旨，キーワードを明記するのを必須とする．

3-3. **論文の頁番号と行番号**　表紙を1頁として，図表を除く原稿に頁番号（通し番号）を付ける．また，各頁に行番号を必ず付ける．行番号は通し番号では無く各頁

Presented by Medical*Online

ふり直す.

3-4. **論文の長さ**　要旨および文献を除いた本文の長さは，総説，委員会報告12,000字以内，原著，技術論文，資料8,000字以内，症例報告6,000字以内，編集者への手紙1,600字以内とする．図表，写真は，1点につき400字換算し上記の文字数に含める．

3-5. **表題**　表題は内容を簡潔，的確に明示するものとし略語はなるべく用いない．

3-6. **要旨**　和文要旨は600字以内とし結論が明確にわかるように記載する．英文論文の場合も和文要旨をつけること．英文要旨は表題，著者名（例：Kazuo Yamada），所属，論文要約（250 words以内で目的，成績，結論を示す）およびキーワードで構成する．

3-7. **キーワード・ランニングタイトル**　キーワードは5語以内とし，英語（例：anemia）と日本語（例：貧血）を記載する．ランニングタイトルは表題を簡潔に表すもので，日本語40字以内，または英文論文の場合80字以内とする．

3-8. **記載上の注意**

1）本文の中での文献引用は，右肩に文献番号を振る．（例：山田ら[1)~3)]）

2）本文の中での図表引用は，括弧付にて図版番号を振る．

3）用語の初出時には正式名を記載した後に括弧内に略語を記載する．（例：（以下○○○と略す））

4）血液検査の略語・単位は以下の通りとする．WBC：$\times 10^9$/L，RBC：$\times 10^{12}$/L，Hb：g/L あるいは g/dL，Ht：L/L（単位なし）あるいは%，MCV：fL，MCH：pg，MCHC：g/L あるいは g/dL，Plt：$\times 10^9$/L，Retic：$\times 10^9$/L あるいは%，白血球百分率：$\times 10^9$/L あるいは%

5）その他度量衡の単位は原則的にSI単位を用いるが，一般的なものはその限りでない．

6）治療薬名の表記は一般名で記載する．商品名の表記は初出時のみ記載する．

7）機器名や試薬名についても，6）と同様に商標（®マークやTMマーク）をつける．特に，タイトル（や抄録など）には記載する．商標について不明な点は企業に確認すること．ただし，文章全体に複数回，記載するようなことは避け，3）のように初出時（社名等とともに記載）のみで以下は略して目障り感を防ぐこと．

8）原稿の執筆，論文の画像やグラフ要素の制作，データの収集や分析においてAIやAI技術を使用した場合，使用したAIツールの種類と使用方法を論文の「対象と方法」およびカバーレターに明記する．

3-9. **文献**　文献数は原則的に総説，委員会報告100編以内，原著，技術論文，資料30編以内，症例報告20編以内，編集者への手紙3編以内（抄録は不要）とし，次の形式（凡例を参照すること）に則り，引用順に記載する．AI支援ツールを用いて作成された情報を参考資料として文献欄に含めることを認めない．

・雑誌の場合…著者名（2名までは併記，3名以上は2名を載せ以下，それ以上は「，他：」または「, et al:」とする）：標題，雑誌名　巻：頁—頁，発行年（西暦）

・単行本の場合…著者名：論文標題，単行本表題，編集者，頁—頁，発行所，発行地，発行年（西暦）

・オンラインジャーナルで発表されて，号や頁が与え

論文区分による執筆要項

論文種類	本文（文字数厳守）	抄録（文字数厳守）	key words	文献
総説	和文：12,000字以内 （図表を含める． 図表1点は400字換算） 英文：5,000語以内 （図表を含める． 図表1点は150語換算）	和文：600字以内 英文：250語以内	5語以内 （和文とその英文）	100編以内
委員会報告				
原著	和文：8,000字以内 （図表を含める． 図表1点は400字換算） 英文：3,300語以内 （図表を含める． 図表1点は150語換算）	和文：600字以内 英文：250語以内	5語以内 （和文とその英文）	30編以内
技術論文				
資料				
症例報告	和文：6,000字以内 （図表を含める． 図表1点は400字換算） 英文：2,500語以内 （図表を含める． 図表1点は150語換算）	和文：600字以内 英文：250語以内	5語以内 （和文とその英文）	20編以内
編集者への手紙	1,600字以内	不要	5語以内 （和文とその英文）	3編以内

※文字数カウントは，MS-Wordの校閲−文字数カウントを使用し，和文の場合は文字数（スペースを含めない）にて，英文の場合は単語数にてそれぞれカウントする．

※本文文字数は，和文，英文の抄録と文献の文字数は，カウントに含めない．

※症例報告において，カルテ記載内容（病状や治療）や，検査データを用いる場合には，主治医へ投稿することの確認は必須とする．

※英文論文は，ネイティブスピーカーが著者に含まれない場合には，英語表現に関する部分について，科学的知識を有するネイティブによる英文校閲を受けた上で投稿する．また，（可能な限り）校閲を受けた証明書をカバーレターに添付する．

Presented by Medical*Online

られていないものは，DOI（digital object identifier）が付与されている場合は明記すること．また，雑誌の省略名は，和文雑誌はその雑誌により決められているものに従い，欧文雑誌はIndex Medicusの略称を用いること．

3-9-1. 凡例　邦文雑誌
1）奈良信雄：血液形態と遺伝子診断．日本検査血液学会雑誌　1：8―14，2000.

3-9-2. 凡例　英文雑誌
2）Becker RC: COVID-19 update: COVID-19-associated coagulopathy. J Thromb Thrombolysis 50: 54―67, 2020. doi 10.1007/s11239-020-02134-3, PMID 32415579, PMCID PMC7225095.

3-9-3. 凡例　邦文単行本
3）川合陽子：線溶系分子マーカー．実践臨床検査医学渡辺清明，他編，p404―405，文光堂，東京，1998.

3-9-4. 凡例　英文単行本
4）Paraskevas F: Clinical flow cytometry. Wintrobe's 112 Clinical Hematology 10th ed. ed Lee GR et al., p56―71, Williams & Wilkins, Baltimore 1999.

3-9-5. 凡例　Webの引用
5）通山　薫：血算・血液一般検査，臨床検査のガイドライン JSLM2012，＜http://jslm.info/GL2012/05.pdf＞（参照2015-11-15）

3-9-6. 凡例　オンラインジャーナル
6）Inaba T, Ishizuka K, et al: Basic utility of Pentra series automated hemotology analyzer for screening of Jordan's anomaly. Int J Lab Hematol, 2016 Aug 30, doi 10.1111/ijlh 12570.

3-10. 図説と図表
図表，写真は，まとめて添付し，本文中に挿入すべき位置を明示しておくこと．他の出版物の図，表などをそのまま，もしくは修正を加えて引用するときは，原則として著作権規定に照らした引用許可が必要であるため，事前に著作権者から転載許諾を得ること．また（可能な限り）許諾を受けた証明書をカバーレターに添付する．該当する図，表の説明には，出典がある旨を明記する．転載により費用が発生する場合は，著者の負担とする．図の表題および説明は論文の最後にまとめて記載すること．和文の場合，図表の表題および説明は日本語とし，英文の場合，図表の表題および説明は英語とする．原則として，細胞・組織等の写真を除き，モノクロにする．特にデジタルデータとして作成した図，写真は印刷製本に耐える鮮明なものとする．印刷原稿の解像度として，300dpiを必要とする．なお，カラー写真の場合は実費が著者負担になる場合がある．表は，表の上部に番号（「表1」など）および表の表題を記載し，表の説明および記号や略語，統計分析結果などの説明は，表の下部に脚注の形で記載する．また，表は最小限の縦横罫線で作成する．

4. 投稿要領

4-1. 論文の投稿　論文投稿は，電子投稿システム「ScholarOne Manuscripts™」で行う．論文は，上記執筆要項に沿って，論文原稿，図表についてそれぞれファイルを作成し，投稿WEBサイトからアップロードする．論文原稿は表紙頁（区分，表題，著者名，所属，和文要旨，キーワード，ランニングタイトル，利益相反の有無），本文（文献含む），図説および英文要旨とする．必ず投稿前にファイル内の文字化け，画像の鮮明度などを確認する．投稿に際し，著者は査読を希望する査読者を投稿WEBサイト上で申し出ることができる．また査読を希望しない査読者について申し出ることが可能である．ただし，実際の査読者が希望通りになるとは限らない．
投稿WEBサイト：http://mc.manuscriptcentral.com/jjslh（日本検査血液学会WEBサイト内リンクより移動可）

4-2. 図表　図はDOC（X），XLS（X），PPT（X），JPG，TIFFおよびGIFフォーマットなどのオリジナルファイルをアップロードする．表はXLS（X），DOC（X）およびPPT（X）フォーマットでアップロードする．また，表は編集可能なテキスト形式とし，画像化しないこと．

4-3. 図版番号　図表には必ず図版番号を入れる．画像ファイルは電子投稿システムcaption機能により挿入可能となるが，画像ファイル以外の場合はファイル内に図版番号を挿入しアップロードする．

4-4. ファイル名について　アップロードファイルは，次のように半角英数字を用いて名前を付ける（拡張子は例示）．
論文原稿（表紙頁，本文（文献含む），図説，英文要旨）：Documents.docx
図：Fig1.jpg　Fig2.jpg　Fig3.jpg
表：Table1.xlsx　Table2.xlsx　Table3.xlsx

4-5. 投稿チェックリスト，投稿承諾書，COI報告書について　投稿チェックリスト，投稿承諾書と全著者のCOI報告書に必要事項を記載のうえ，署名捺印のうえスキャンデータ（PDFファイル）を，次のように半角英数字を用いて名前を付け（拡張子は例示），アップロードする．
投稿チェックリスト：checklist.pdf
投稿承諾書：shodaku.pdf
COI報告書：coi.pdf

4-6. ファイルサイズ　アップロードするファイルサイズは，すべてのファイルの合計で20MBまでとする．

4-7. 問合せ先

4-7-1. 投稿・編集について：
「日本検査血液学会雑誌編集室」
〒114-0024　東京都北区西ヶ原3-46-10
TEL：03-3910-4311，FAX：03-3949-0230
E-mail：jslh@kyorin.co.jp

4-7-2. オンライン投稿・査読システムの操作について：
ScholarOneサポートセンター（株式会社杏林舎内）
TEL：03-3910-4517
電話受付時間：平日9時～12時，13時～17時まで
E-mail：s1-support@kyorin.co.jp

5. 論文の採否　論文は編集委員会の審査により採否を決定する．審査にあたっては原則として複数査読制をとる．

6. 校正と別刷　著者校正は，原則として初校において行なう．印刷所から送付された校正は，必ず3日以内に返送すること．投稿者が連名の時は，校正の責任者と送り先を投稿の時に指示する．校正は間違いを訂正する程度とし，大きな加筆や訂正をしない．別刷を希望する時は，校正時に部数を明記して申し込み，その費用は，著者負担とする．

7. 著作権　本誌に掲載された論文の著作権は，原則的に日本検査血液学会に帰属するものとする．

2018年以降記載
（2018年11月30日改定）
（2018年12月21日改定）
（2022年7月31日改定）
（2023年7月31日改定）
（2024年7月31日改定）

Presented by Medical*Online

■日本検査血液学会雑誌への論文投稿時の利益相反（COI）自己申告書の提出について■

（本学会「医学研究の利益相反（COI）に関する指針の細則」より抜粋）

第2条（本学会に関連する刊行物で発表する際のCOI事項の申告）

第1項（開示の範囲）会員，非会員の別を問わず，本学会に関連する刊行物で発表を行う著者全員は，配偶者，一親等の親族，または収入・財産を共有する者も含めて，過去3年間のCOI状態の有無を申告しなければならない．申告すべきCOIおよびその開示基準は，企業・法人組織や営利団体に関わる事項で本細則第4条に該当する場合であり，発表内容に関連するものに限定される．

第2項（開示の方法）本学会の学会誌「日本検査血液学会雑誌」で発表（総説，原著論文など）を行う著者全員は，投稿時に「論文著者の利益相反に関する自己申告書」（様式2：次ページ掲載）に従い，COI状態を明らかにしなければならない．この際に，責任著者（Corresponding author）は当該論文にかかる著者全員からのCOI状態に関する申告書を取りまとめて提出し，記載内容について責任を負うことが求められる．またCOI状態について「論文著者の利益相反に関する自己申告書」と同内容事項を，投稿論文の末尾，謝辞または文献の前に記載する．規定されたCOI状態がない場合は，同部分に「開示すべきCOI事項はない」などの文言によってその旨を明記する．開示すべきCOI状態の対象期間は論文投稿時より過去2年間とする．著者より提出された自己申告書は論文査読者に開示しない．

第3項（審査および審査の記録）本学会編集委員会は，発表者から提出された自己申告書につき審査を行う．COIに関する懸念・違反があった場合には，利益相反委員会に審査を依頼することができる．本学会編集委員会は，審査の記録を紙媒体にて論文掲載後2年間厳重に保管する．

第7条（違反者に対する措置）

第1項（本学会事業での発表に関して）本学会の学会誌「日本検査血液学会雑誌」で発表を行う著者，ならびに本学会学術集会などの発表予定者によって提出されたCOI自己申告事項について，疑義もしくは社会的・道義的問題が発生した場合，本学会として社会的説明責任を果たすために利益相反委員会または暫定的に組織されたCOI調査委員会が十分な調査，ヒアリングなどを行ったうえで適切な是正措置を講ずる．是正措置に応じない場合は，深刻なCOI状態と判断し，理事長にその旨を報告する．深刻なCOI状態があり，説明責任が果たせない場合は，理事長は倫理委員会やCOI調査委員会に諮問し，その答申をもとに理事会で審議のうえ，当該発表予定者の学会発表や論文発表の差止めなどの措置を講じることができる．既に発表された後に疑義などの問題が発生した場合には，理事長は利益相反委員会またはCOI調査委員会に事実関係の調査を依頼し，違反があると認定されれば，理事会の協議を経て掲載論文の撤回などの措置を講じる．違反の内容が本学会の社会的信頼性を著しく損なう場合には，本学会の定款にしたがい，会員資格などに対する措置を講ずる．

Presented by Medical*Online

日本検査血液学会雑誌　論文投稿チェックリスト

□　に印を付けて，原稿と一緒にお送りください．

□　筆頭著者及び責任著者は会員ですか．
□　筆頭著者以外の第三者（責任著者または上長）の校閲は受けましたか．
校閲者署名：　　印
□　本論文は他誌に未発表ですか（二重投稿については投稿規定参照）．
□　研究倫理に関するガイドライン等を遵守していますか．
□　施設内倫理委員会の審査を受けましたか．
　□　は　い（承認番号：　　）
　□　いいえ　□症例報告であり，自施設の倫理規定を満たすので審査不要です
　（症例報告で自施設の倫理規定を満たさない場合には審査は必要）．
　□症例報告ではありません，ただし下記の理由から審査不要です．
　（理由：　　）
□　症例報告など，カルテ記載内容（病状や治療）や，検査データを利用しての投稿ですか．
　□　は　い　□主治医は著者に含まれます．
　□著者ではないが，投稿することへの同意を得ています．
　□　いいえ　□カルテ，検査データなどの診療情報は不使用です
　（カルテや検査データを用いる場合には，主治医へ投稿することの確認は必須です）．
□　利益相反（COI）に関する自己申告を添付しましたか（申告無しの場合も必要）．
□　投稿承諾書の記入は行いましたか（共著者全員の承諾を確認）．
□　論文の全著者役割分担を投稿承諾書に記載いたしましたか．
□　論文の区分を明記しましたか．
□　論文は原則として以下の通り構成していますか．
　表　　紙　□　表題
　□　著者名
　□　所属
　和文要旨　□　和文要旨（600 字以内）
　□　和文キーワード（5 語以内）
　□　ランニングタイトル（40 字以内）
　責任著者　□　責任著者名
　□　連絡先所属
　□　連絡先所在地
　□　電話番号
　□　FAX 番号
　□　E-mail アドレス

Presented by Medical*Online

本　　文　□ 本文体裁（A4 版縦用紙横書き，40 字×20 行，文字サイズ：12 ポイント）
□ 標準フォントの使用（MS 明朝，MS ゴシック等）
□ 頁番号
□ 行番号（頁毎に振り直し）

利益相反　□ 投稿規定通り，記載されていますか．

文　　献　□ 投稿規定通り，記載されていますか．
□ 引用順に番号をつけました．
□ 文献数の上限を守りました（総説，委員会報告：100 編以内，原著，技術論文，資料：30 編以内，症例報告：20 編以内，編集者への手紙：3 編以内）．
□ 文献の記載形式（著者数，雑誌名など）を遵守しました．
□ Web の引用方法やオンラインジャーナルの場合の標記を遵守しました．

図　　表　□ 図説を記載しました（和文の場合は日本語，英文の場合は英語で記載）．
□ 図表の画質を確認しました（印刷原稿の解像度として，300dpi が必要）．
□ 図版番号（例：図 1，Fig. 1）が本文の記載とずれのないことを確認しました．
□ 写真は鮮明なものであることを確認しました．
※原則として，細胞組織等の写真を除き，モノクロにしてください．
□ 表は編集可能なテキスト形式としました．
□ 他の出版物の図表を引用する場合，著作権者から転載許諾を得ました．

英文要旨　□ 英文表題
□ 英文著者名
□ 英文所属
□ 英文要旨（250words 以内）
□ 英文キーワード（5 語以内）

□ 血液検査の略語・単位は，投稿規定（3-8，記載上の注意，4））を遵守していますか．

□ 治療薬名，機器名や試薬名の表記は投稿規定（3-8, 記載上の注意，6）・7））を遵守していますか．
□ 一般名で記載しました．
□ 商品名の表記は初出時のみです．
□ 商標（®マークや TM マーク）の確認をしました．
□ タイトルや抄録には記載しました．
□ 文章全体に複数回，記載するようなことは避け，初出時のみです．

□ 論文の長さは，図表（1 点 400 字換算）を含め以下の文字数を超えていませんか（但し，要旨および文献を除いた本文の長さ）．
□ 総説：12,000 字
□ 委員会報告：3,000～15,000 字
□ 原著，資料，技術論文：8,000 字
□ 症例報告：6,000 字
□ 編集者への手紙：1,600 字

署名（　　）印

Presented by Medical*Online

（様式 2）　　Ver.2.0：2017 年 7 月 21 日

日本検査血液学会雑誌・論文著者の利益相反に関する自己申告書

事務局記入欄	受付番号：
	受付日：西暦　　年　　月　　日

責任著者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿　責任著者所属施設名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

共著者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

論文題名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

著者全員について，
投稿時から遡って過去 3 年間以内での論文内容に関係する企業・組織または団体との COI 状態を記載

項　　目	該当の状況	有であれば，著者名：企業名などの記載
①本人あるいは配偶者，一親等の親族の営利を目的とする企業・法人組織・団体の社員，役員，顧問職への就任（1 つの企業や団体からの報酬額が年間 100 万円を超えた場合）	有・無	
②株式の利益（1 つの企業から年間 100 万円以上の場合，あるいは当該株式の 5%以上保有）	有・無	
③特許使用料（1 つにつき年間 100 万円以上の場合）	有・無	
④講演料（1 つの企業・団体からの年間合計 50 万円以上の場合）	有・無	
⑤原稿料（1 つの企業・団体から年間合計 50 万円以上の場合）	有・無	
⑥研究費・助成金などの総額（1 つの企業・団体からの研究経費を共有する所属部局（講座，分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が 100 万円以上の場合）	有・無	
⑦奨学（奨励）寄付などの総額（1 つの企業・団体からの奨学寄付金を共有する所属部局（講座，分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が 100 万円以上の場合）	有・無	
⑧企業などが提供する寄付講座（企業などからの寄付講座に所属している場合に記載）	有・無	
⑨企業などからの試薬・機器などの無償もしくは特に有利な価格での提供や，データ解析その他の役務提供	有・無	
⑩旅費，贈答品などの受領（1 つの企業・団体から年間 5 万円以上の場合）	有・無	

（記入内容が多い場合は複数枚にまたがって結構です．本 COI 申告書は論文掲載後 2 年間保管されます．）

（申告日）西暦　　年　　月　　日　　責任著者氏名（署名）＿＿＿＿＿＿＿＿

Presented by Medical*Online

投稿承諾書

日本検査血液学会雑誌編集委員会　殿

年　　月　　日

(1) 下記投稿論文は，その内容が他誌に掲載あるいは投稿中でないことを誓約いたします.

(2) 共著者がある場合，その全員が本論文の投稿を承諾していることを筆頭著者として確認いたしました.

(3) 本誌に掲載された論文の著作権は，すべて日本検査血液学会に帰属することを承諾いたします.

論文名：

責任著者名（自署）：　　印　役割：

共著者承諾（各著者の役割も記載例を参照に，ご記入ください.）

共著者名（自署）	役割分担
1.	
2.	
3.	
4.	
5.	
6.	
7.	
8.	

【記載例】
○○○○：筆頭著者，研究立案，論文執筆　●●●●：データ収集・解析　△△△△：責任著者，指導，校閲

Presented by Medical*Online